

共同研究
事例⑥
テーマ

川崎市における地域社会・産業の 環境共創に関する研究

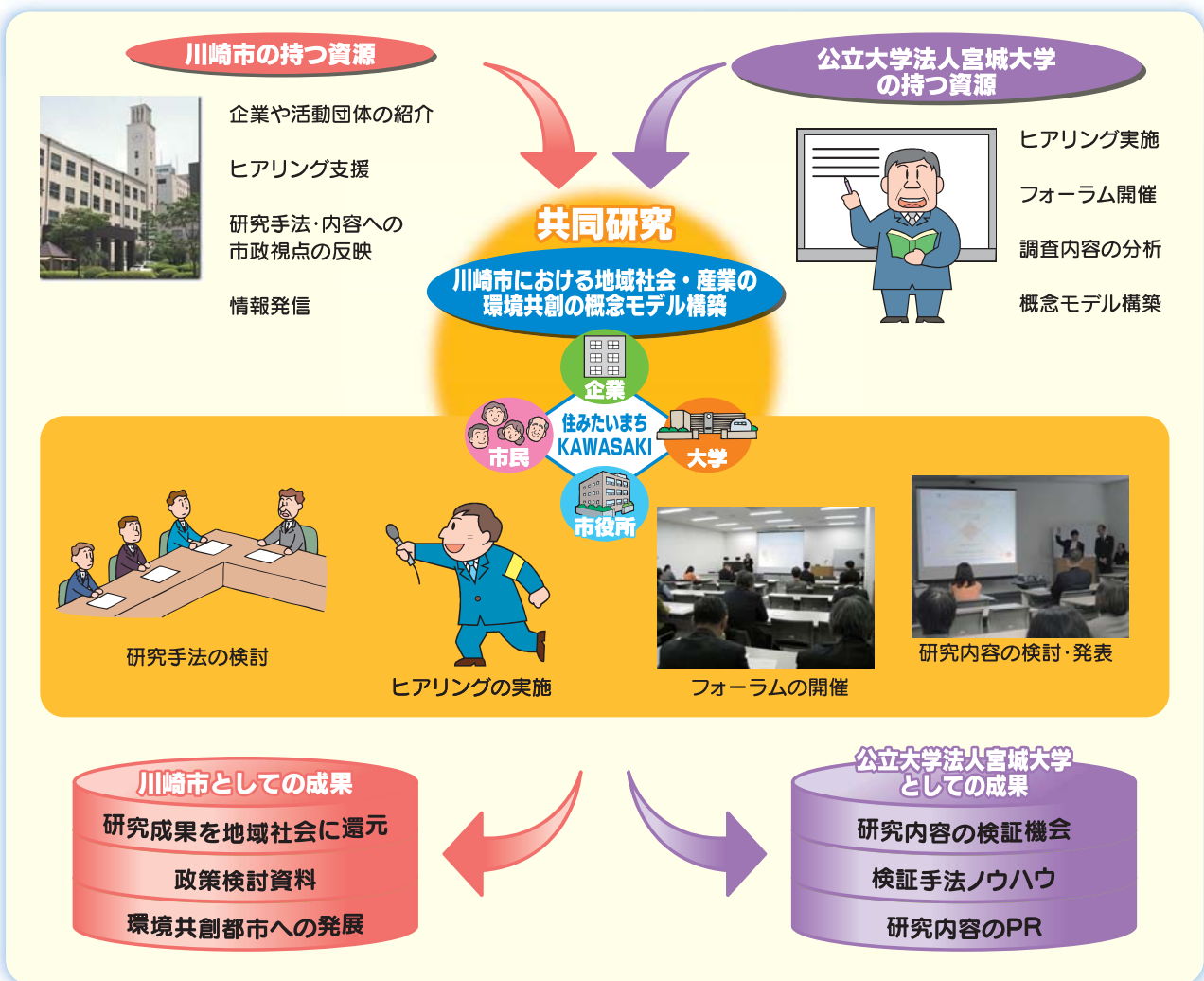
共同研究者・公立大学法人宮城大学・川崎市

概要

川崎市の都市政策・環境政策に対して、これを「環境共創」という視座から分析、考察することで、「住みたいまちKAWASAKI」の概念モデルを構築していきます。産業セクター、市民セクターの両面からアプローチし、問題発見のための分析視点を提供し、川崎市全体を「学習する組織」へと変革させるとともに、問題の構造的側面や原理的側面を探求し、市民共創フォーラムの開催へと結実させていきます。

川崎市は研究対象となる川崎市内の企業や活動団体の紹介、ヒアリング支援、研究手法・内容への市政視点の反映を、公立大学法人宮城大学はヒアリング実施、フォーラム開催、調査内容の分析、概念モデル構築を担当しました。

研究成果は今後の川崎市の都市政策・環境政策の在り方に有益な示唆を与えるものと期待されます。



公立大学法人宮城大学

共同研究に参加した感想

川崎には環境意識の高い企業・団体がたくさんあります。私たちはこのような企業・団体を、戦略的視点から分析して市民の皆さまに紹介し、一緒に街づくりを考えていきたいと思っています。

共同研究者概要

名称：公立大学法人宮城大学
所在地：宮城県黒川郡大和町
設立：1997年4月
活動概要：事業構想学部にて、事業の企画に関する知識や技術を研究するとともに、体系的に教授している。



KAWASAKI CITY

川崎市

共同研究に参加した感想

川崎には環境への意識、行動において日本を代表する素晴らしい企業・団体が沢山ありますが、研究者の視点から分析と考察を実施することは、今後の川崎市の環境施策に役立つ意義のあることと考えます。